

2020年2月21日

報道関係各位

三菱地所株式会社
株式会社ひらまつ

「(仮称) 京都岡崎ホテル計画」着工 ひらまつの新ブランドホテルが初出店、2021年秋に開業予定

三菱地所株式会社はこのほど、京都市左京区岡崎天王町において、「(仮称) 京都岡崎ホテル計画」の新築工事に着手いたしました。

本計画は寺院「真宗大谷派岡崎別院」所有地の一部を一般定期借地権（50年）で三菱地所が借り受けてホテルを開発、竣工後は株式会社ひらまつが賃借のうえ、ホテル運営を行います。ホテルはひらまつが展開する新ブランド「(仮称) ザ・ホテル岡崎京都 by Hiramatsu」が初出店、開業は2021年秋頃の予定です。

本計画地は、京都の洛東エリアで、丸太町通に面しており、周辺には平安神宮のほか南禅寺や京都市動物園があるなど、観光至便な立地です。ホテル建物は底を設け、落ち着いた色調を用いるなど寺社を思わせる外観とし、インテリアは木や石など素材感を生かすほか、西陣織の老舗「細尾」をはじめ、京都の伝統工芸を担う若手後継者6人による日本の伝統工芸の新たな価値を発信するプロジェクト「GO ON (ゴオン)」とのコラボレーションも企画しています。



外観パース

ひらまつは、1982年の創業以来、レストラン事業を核に、時代の変化やニーズに応じてウエディングやケータリング、ワイン、ホテルなどに業容を拡大。ホテル事業については、「ザ・ひらまつ ホテルズ & リゾーツ」ブランドを展開し、オーベルジュ型ホテルで「滞在するレストラン」という領域を確立しておりますが、新たな顧客層を取り込むべく、新規ホテル・ブランドを立ち上げ、出店戦略の多様化を図る方針です。このほど、従来から手掛けるスモールラグジュアリーブランドとは別に、新たに、伝統と革新を調和する次世代顧客向けホテル・ブランドとして「(仮称) ザ・ホテル岡崎京都 by Hiramatsu」ブランドを始動、本計画が第1号案件となります。

今後も、三菱地所は、訪日外国人観光客の増加などに伴う旺盛な宿泊ニーズに応えるべく、三菱地所グループである株式会社ロイヤルパークホテルズ アンド リゾーツをはじめ、国内外のホテルオペレーターと連携し、ホテルマーケットの動向や立地特性等に応じた幅広いカテゴリーのホテル開発に積極的に取り組んで参ります。

ひらまつは、今後はオーベルジュ型やスモールラグジュアリーでのホテル出店を継続するほか、客室数 50 室超の都市型ホテルなど新たな領域に進出していき、ひらまつの良さと伝統を継承し、時代に即して革新し続けられるひらまつとして、多くの顧客に愛されるレストラン、ホテルの開発と運営を目指して参ります。

■（仮称）京都岡崎ホテル計画の概要

所在地：京都市左京区岡崎天王町 26 番 5 の一部（地番）

敷地面積：2,860.75 m² (約 865.37 坪)

延床面積：5,500.38 m² (約 1,663.86 坪)

規模：鉄筋コンクリート造、地上 4 階

客室数：60 室（約 40 m² 52 室、約 80 m² 8 室）

料飲施設：レストラン、和食の各 1 店舗

開業時期：2021 年秋（予定）

設計・監理：株式会社三菱地所設計

施工：株式会社大林組

運営会社：株式会社ひらまつ (<https://www.hiramatsu.co.jp/>)

内装設計・監理：株式会社乃村工藝社 (<https://www.nomurakougei.co.jp/>)

アートワーク協力先：株式会社細尾 (<http://www.hosoo.co.jp/>) ならびに

同社監修京都若手伝統後継者によるプロジェクトユニット「GO ON」

(<https://www.go-on-project.com/>)



スイート客室（イメージ）



ホテルレストラン（イメージ）

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
三菱地所株式会社 広報部 03-3287-5200
株式会社ひらまつ 経営戦略部 03-5793-8811

※資料配布先：国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、京都府政記者室、京都経済記者クラブ
プレスリリース画像のダウンロード：<https://app.box.com/s/vum0omjkosz42hrodd252ses330m2k79>